

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年7月29日(2024.7.29)

【公開番号】特開2023-14004(P2023-14004A)  
 【公開日】令和5年1月26日(2023.1.26)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-016  
 【出願番号】特願2022-109360(P2022-109360)  
 【国際特許分類】

A 6 3 H 33/18(2006.01)

10

A 6 3 H 33/00(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/18 B

A 6 3 H 33/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月19日(2024.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物品を用いた遊戯に使用される動作玩具であって、  
 第1の位置から第2の位置に変位する第1の変位部と、  
前記第1の変位部の変位方向に延び、前記物品が移動可能な第1の移動部と、  
第3の位置から第4の位置に変位する第2の変位部と、

を備え、

前記物品の前記第1の移動部上の第5の位置への移動に応じて、前記第1の変位部が前記第1の位置から前記第2の位置へ変位するとともに、前記第2の変位部が前記第3の位置から前記第4の位置に変位し、

30

前記第1の変位部の一部は、前記第2の位置へ変位することで、前記物品の前記第1の移動部上の移動を開始または加速させることが可能である、動作玩具。

【請求項2】

請求項1に記載の動作玩具であって、  
前記第1の変位部は、前記第1の位置においては当該第1の位置から前記第2の位置へ変位する第1の付勢方向に付勢され、前記物品の前記第5の位置への移動に応じて、当該第1の付勢方向に変位する、動作玩具。

【請求項3】

40

請求項2に記載の動作玩具であって、  
前記第1の変位部は、前記第1の位置においては係止部により係止された状態であり、前記物品の前記第3の位置への移動に応じて、当該動作部を係止している係止部が外れることにより前記第1の付勢方向へ変位する、動作玩具。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の動作玩具であって、  
前記第2の変位部は、第3の位置においては当該第3の位置から前記第4の位置に変位する第2の付勢方向に付勢され、前記第1の変位部の変位に応じて、当該第2の変位部が当該第2の付勢方向に変位する、動作玩具。

【請求項5】

50

請求項 4 に記載の動作玩具であって、  
前記第 1 の変位部は、前記第 2 の変位部を前記第 3 の位置に保持する保持部を有する、  
動作玩具。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 に記載の動作玩具であって、  
前記第 2 の変位部の変位は、回転方向の変位である、動作玩具。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の動作玩具であって、  
前記第 1 の変位部は、形象部および当該形象部を固定する台座部を含み、当該台座部に  
前記第 2 の変位部を前記第 3 の位置に保持する保持部が設けられている、動作玩具。 10

【請求項 8】

請求項 7 に記載の動作玩具であって、  
前記台座部は、前記第 2 の位置側の側面において、その下部が上部よりも、前記第 1 の  
変位部の変位方向に突出している、動作玩具。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の動作玩具であって、  
前記第 1 の変位部の変位方向において、前記形象部の最も突出した部分は、前記台座部  
の前記上部よりも突出している、動作玩具。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の動作玩具であって、 20  
前記第 5 の位置近傍に、前記物品を当該第 5 の位置に導くための、当該物品が移動可能  
な第 2 の移動部を有する、動作玩具。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の動作玩具であって、  
前記第 2 の移動部は、前記第 5 の位置と離間して設けられている、動作玩具。

【請求項 12】

請求項 10 または 11 に記載の動作玩具であって、  
前記第 2 の移動部は、前記物品の移動速度を抑制する形状を有する、動作玩具。

【請求項 13】

請求項 10 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の動作玩具であって、 30  
前記第 1 の移動部と前記第 2 の移動部は、前記物品の移動方向が異なる、動作玩具。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の動作玩具であって、  
前記物品は、転動により移動可能な球体である、動作玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一実施の形態である動作玩具は、物品を用いた遊戯に使用される動作玩具であ  
って、第 1 の位置から第 2 の位置に変位可能に動作する動作部と、前記第 1 の位置に位置  
する前記動作部の少なくとも一部を被覆する第 1 の状態と、被覆された前記動作部が露出  
する方向に変位した第 2 の状態と、を取り得るように動作する被覆部と、を備え、前記物  
品の第 3 の位置への移動に応じて、前記動作部が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置へ変  
位するとともに、前記被覆部が前記第 1 の状態から前記第 2 の状態に変位し、前記動作部  
の一部は、前記第 2 の位置へ変位することで、前記物品の移動を開始または加速させるこ  
とが可能である。また、本発明の一実施の形態である動作玩具は、物品を用いた遊戯に使  
用される動作玩具であって、第 1 の位置から第 2 の位置に変位する第 1 の変位部と、前記  
第 1 の変位部の変位方向に延び、前記物品が移動可能な第 1 の移動部と、第 3 の位置から 40

第 4 の位置に変位する第 2 の変位部と、を備え、前記物品の前記第 1 の移動部上の第 5 の位置への移動に応じて、前記第 1 の変位部が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置へ変位するとともに、前記第 2 の変位部が前記第 3 の位置から前記第 4 の位置に変位し、前記第 1 の変位部の一部は、前記第 2 の位置へ変位することで、前記物品の前記第 1 の移動部上の移動を開始または加速させることが可能である。

10

20

30

40

50